

第4 分科会

「家庭教育とPTA」

発表県 千葉県
発表校 千葉県立松戸馬橋高等学校
発表者 PTA会長 大木 加寿美
発表テーマ 「馬高流PTA活動の在り方」

1はじめに

(1) 本校概要

本校は昭和52年4月開校 本年度42年目を迎きました。全24学級（各学年8学級）若干女子生徒の比率が多いです。

上野～水戸方面に向かう常磐線沿線、松戸駅と柏駅の中間の「馬橋駅」が最寄り駅です。駅からまっすぐ江戸川に向かい約20分の所にあります。そばに江戸川が流れとても穏やかな環境です。旭町小学校・旭町中学校と隣接しており、小学校・中学校との交流が盛んです。

(2) 校訓

・“まこと”をつくせ

（何事にも誠実に取り組める態度の育成）

・自己の限界に挑戦せよ

（部活動で高い目標に挑戦、検定取得等）

・良き国際人となれ

（短期留学・台湾修学旅行等、国際理解教育の推進）

(3) 部活動

生徒の加入率は約65%程度です。70%超えを目標としています。山岳部が全国高校総体、陸上競技部、男子バレー部、水泳部が関東大会に出場しています。

書道部、美術工芸部が全国高校文化祭、茶道部が全国交流茶道フェスティバル、演劇部が関東大会に出場しています。

(4) 地域連携

小学校とは、松戸市の「六間川を守る会」とも連携して、花植えボランティアをしています。また、令和2年度は、英語版絵本の読み聞かせをリモートで実施し、千葉県の地方新聞「千葉日報」の取材が入り、掲載されました。

また、小学校・中学校共通の交流として、学習ボランティアで交流しています。中学校とは、ふれあいコンサートを通じて交流をしています。その他にも、大根掘りボランティアや新松戸祭りボランティア等で地域との交流を図っています。

(5) 進路状況

進学81%（4年制大学・短大33%，専門学校48%）、就職15%です。今後は就職にも力を入れていきたいと考えています。

2 PTA活動報告

(1) 活動概要

私達PTA会員のモットーは“無理なく みんなで 楽しく 笑いながら 誰もができるPTA活動を目指す！”です。様々なPTA活動を経て、保護者が明るく子育てをすることで、家庭環境が整うと、子供たちにも良い影響を与えることができる、と考えています。

会長、副会長、書記、会計、会計監査の他に、環境整備委員会、研修委員会、広報委員会の3つの専門委員会の委員長と副委員長、各学年の委員長、副委員長、総勢26名で常任理事会を

開いております。毎年だいたい年に 5 回の集まりで、議事をすすめてまいります。常任理事が多い理由は、仕事を細分化し、分業することで個々の負担を減らすためです。そして、PTA 総会の後には歓送迎会、年の終わりには忘年会、行事後の反省会と、保護者だけでなく先生方も参加する懇親会を重ね、親交と交流を深め、PTA 活動が円滑に進むように努めております。

(2) 専門部活動 1：環境整備委員会

次に、専門委員会の活動について紹介させていただきます。まずは、環境整備委員会の活動です。毎年 9 月に天馬祭（文化祭）でバザーの企画運営、12 月に花植えボランティアの準備を行います。

文化祭のバザーでは、ドリンク・おにぎりなどの仕入れ品販売・寄贈品販売・ゲーム があり全学年が各グループに分かれて作業を進めています。

各グループには経験者がいますので、何をしたら良いか分からず手探り状態となることはありません。また 1 グループは 5 ~ 6 人前後と少人数なので打ち解けやすく、色々なアイデアが出て活発な意見交換が行われています。そして、事前準備に来られない方は、当日の寄贈品販売を担当しますので、それぞれの都合に合わせて、活動に参加できるようになっています。バザーの内容をいくつか紹介します。

ゲームには、輪投げ・射的・ボール投げなどがあります。松戸馬橋高校の近隣に小中学校がありますので、小学生やご兄弟で来て下さるお客様にも楽しんで頂けるようにしています。お客様がいないときは、役員が童心にかえりゲームを楽しんでいました。

また、地域にある和菓子屋さんより仕入れる、おにぎり・山菜おこわ・みたらし団子なども人気があります。数年前に学校の校章をかたどっ

た焼き印を作成し、通称『馬高どら焼き』を販売しました。初の試みでどうなるかと不安もありましたが、大好評で完売しました。



12 月の花植えボランティアは、近隣の児童と本校の生徒が、地域の方々と協力し、総勢 400 人位で学校周辺に花を植える作業を行い、地域に貢献し親睦を深める大切な活動です。

その前日準備を環境整備委員と、美化委員会の生徒たちで行います。花植えをしやすい様に、様々な花をケースにバランス良く詰める作業を行います。花の配色をどうするかなどを話していくうちに、徐々に話題も広がり、活動を通して楽しい時間を過ごしています。令和 2 年度は、コロナ禍の影響で、残念ながら全ての活動が中止となりました。活動を再開できる日がとても待ち遠しいです。

(3) 専門部活動 2：研修委員会

続いて、研修委員会の活動について紹介させていただきます。

令和 2 年度はコロナ禍の影響で、色々な学校



行事や PTA 行事が中止になりましたが、活動の主である「研修旅行は実施する」となり活動がスタートしました。本校では、非日常的な経験、芸術的文化に触れる体験として、劇場に足を運び観劇するという活動を行ってきました。午前中に現地集合し、近隣ホテルでランチバイキングを楽しみ、その後で観劇し解散します。平成 30 年度は劇団四季『恋に落ちたシェイクスピア』を、令和元年度には、同じく劇団四季の『アラジン』を観劇しました。参加者からは、とても好評で希望者多数のため、厳選なる抽選を行うほどでした。また、実現できるよう引き継いでいきます。

令和 2 年度は、研修委員で意見を出し合い、最終的に世界遺産登録の富岡製糸場の見学と川越地区の散策をするプランに決めました。偶然にも、希望者は募集定員と同数のため抽選もなく申込者全員で参加でき良かったです。

当日は、JR 馬橋駅に集合し、現地まではバス移動なので、行き帰りの車中余興を検討しました。コロナ禍でマスク着用、会話は控え目が良いのか等、委員のグループ LINE で相談を重ねました。その結果、今回は旅行の記念になる土産品の購入をひらめきました。そして、委員で手分けをして飲み物やおやつ、bingo ゲームの準備など、当日の朝早めに集合して役割分担を決め臨みました。お天気にも恵まれて、準備の甲斐もあり、見学も滞りなくスムーズに終えました。場所を変えて、感染予防対策をたてた美味しい食事をいただきました。その後の川越地区の散策では、情緒ある街並みを堪能し思い思いの買い物を楽しみました。学年を超える情報交換もできて、お土産と共に家庭に持ち帰りました。

バス研修旅行は、色々な心配はありました、中止せずに実施できたことで、それぞれに得るもののがたくさんありました。今年度の研修委員

にとって初めてのことだったので、行き届かない点がありましたが、参加者全員無事に安全で楽しく、旅行を終える事ができて本当に良かったと思います。



(4) 専門部活動 3：広報委員会

続いて、広報委員会の活動を紹介させていただきます。広報委員会では、広報誌を年 3 回、学期末の配布を目指し、保護者の方々に学校の様子をお知らせ出来るよう努めています。様々な学校行事を取材させてもらい、写真を撮影していました。また、写真部の生徒が撮影したベストショットの写真や、飾り気のない学校生活の写真を、生徒達から提供してもらい掲載して作成していました。しかし、令和 2 年度は、コロナ禍の影響で、あらゆる行事が中止となるなか、実施できた学校行事を伝えるべく、写真をたくさん掲載することにしました。初の試みとして、栄養士監修のもと、お弁当特集を掲載したりと奮闘し、これまで発行したものに負けず劣らずの広報誌が出来あがりました。広報誌を読んだ方からは、『写真が多く掲載されていて、子ども達の様子がわかる。また読みたくなる!!』との声を頂き本当に嬉しく思いました。今後も写真で伝えたいと感じた瞬間でした。

これは、委員長の感想です。

そもそも高校で役員を引き受け、PTA 活動をすれば、思春期の我が子の様子を知ることができるかもしれないという気持ちで始めました。

いざ務めてみると、先生方が積極的に携わっていただきことで小・中学校ほどの負担はなく、学校の行事にも堂々と携わることができてとても良かったです。高校生活のヒトコマをうかがえました。コロナ禍の中で必要以上に集まることはできませんでしたが、メールやLINE等を使うことにより編集や校正などをこなすことができました。



個々の負担を減らしたことで、不安を抱いていた保護者から『これならば出来るかも！こんなやり方もアリですね。』と前向きな意見を聞くことができました。また、自然とみんなで助け合う事で、学年を越えて仲間を感じることができました。

(5) 登校指導

その他のPTA活動としては、登校指導という活動があります。2学期の中間考査期間に、朝の登校風景を見守って指導を行います。学校近くの交差点に数名ずつ立ち「おはようございます。」「いってらっしゃい。」と生徒達に声をかけています。

活動中は写真の様に、お揃いの蛍光色のウインドブレーカーを着ていて、校名の入ったのぼりを持っているためPTA活動だと一眼でわかるのです。思春期真っ只中の高校生達ですが、一瞬、戸惑いながらも、マスクの上の目と目が

合えば静かに会釈をしてくれたり、気持ちの良い挨拶をかえしてくれたりと、心温まる出来事になっています。活動後には、活発な意見交換を行なっています。この活動は、毎年行なっていますが、年々参加率が上がっており4日間連続で参加する方もいます。保護者からは、引き続き見守っていきたいとの声があがっています。



(6) 講演会

例年は、5月に開催されるPTA総会の前に、会員対象に講師をお招きして、講演会を開催しております。テーマは、毎年、常任理事会で話し合い多方面の内容の講演を企画し盛況のうちに終えております。令和2年度は、コロナ禍の影響で11月に催すことになりました。テーマは、「松戸馬橋高等学校におけるキャリアカウンセリングの現状について」でした。松戸馬橋高校では、千葉県内で唯一、キャリアカウンセラー制度を導入している学校です。令和2年で10年目になるそうですが、NPO法人キャリアサポートネットワークからキャリアカウンセラーの方々が派遣され、定期的に生徒の相談にのってくれています。悩みの解決策を本人から引き出し、導き出すお手伝いをしていただいています。『ホランド興味チェックシート』という専門ツールを駆使して、カウンセラーの方々の豊富な知識と経験で丁寧にお話ししてくれます。カウンセリングを受けた生徒達からは、非

常に役立った、心のモヤモヤが晴れてスッキリしたと大好評の結果を得ています。

講演会に参加した保護者からは、ホランドチェックをやらせてみたい！または、自分もやってみたい、我が子と将来の話をする機会に講演会の内容を参考にしたいといった意見がありました。しかし、残念ながら、キャリアカウンセラー制度の周知率は低くて、お恥ずかしい話ですが、私達保護者も、そのような制度があることを知りませんでした。講演会の終わったその夜に、子どもに進路相談員（キャリアカウンセラー）さんに、会いにいってらっしゃい！と話しますという意見もありました。学校の取り組みの1つとして、非常に良いと感じているところです。



(7) まとめ

最後に歴代の会長職の保護者の意見を紹介させていただきます。

先生方や理事の方々がたくさん協力して助けてくれたので、皆さんが思っている程 大変なことは無かったです。学校での様子を見られたり、生徒たちと接する機会を頂けたことで、高校生の生の声を聞くことが出来て、自分の子育てにも参考になる、とても有意義な時間を過ごすことができました。全ての生徒たちが松戸馬橋高校に入って良かった！と思って貰えるような3年間を過ごして貰いたいという想いで、微力ながら、色々提案させて貰ったり、活動させ

て貰いました。とても楽しい3年間でした。

松戸馬橋高校は、入学式後の体育館にて理事決めを行いますが、立候補の理事がたくさんいます。それは、PTA活動に能動的に関わろうとする現れであり、理事からは忌憚（きたん）のない意見が出ます。その雰囲気の中で行う会長の職務に、大変な事はほぼありません。

私自身は、会長職を組織のひとつのギアとしか考えていません。会長職は管理職なので下部組織が円滑に活動しているかを見ています。各委員長を信頼し、三役はやたらに積極的介入はしません。皆さんスキルのある精銳ですし、三役が出しやばる必要もないのです。

PTAはボランティアなので、役職の違いはあれど関係性は横並びです。おかげで垣根なく関われます。私は力量以上の責務は、副会長や適任者に分業や代行を依頼するスタンスを元から持っていたので、それもストレスなくPTAに関われる要因かもしれません。

それでは、以上をもちまして、千葉県立松戸馬橋高等学校の発表を終わりにしたいと思います。皆さまご静聴ありがとうございました。